

## 青少年の社会意識及び活動に関する調査結果

[小学生・中学生・高校生]

### <小学生>

#### ○性別

	人数(人)	割合(%)
男	327	51.7
女	304	48.0
無回答	2	0.3
合計	633	100.0

#### ○学年

	人数(人)	割合(%)
小学校5年生	326	51.5
小学校6年生	305	48.2
無回答	2	0.3
合計	633	100.0

### <中学生>

#### ○性別

	人数(人)	割合(%)
男	469	49.6
女	472	50.0
無回答	4	0.4
合計	945	100.0

#### ○学年

	人数(人)	割合(%)
中学校1年生	320	33.9
中学校2年生	315	33.3
中学校3年生	306	32.4
無回答	4	0.4
合計	945	100.0

### <高校生>

#### ○性別

	人数(人)	割合(%)
男	502	53.1
女	434	45.9
無回答	9	1.0
合計	945	100.0

#### ○学年

	人数(人)	割合(%)
高校1年生	300	31.7
高校2年生	320	33.9
高校3年生	314	33.2
無回答	11	1.2
合計	945	100.0

#### ○年齢

	人数(人)	割合(%)
15歳	214	22.6
16歳	312	33.0
17歳	332	35.1
18歳	78	8.3
19歳以上	0	0.0
他	2	0.2
無回答	7	0.7
合計	945	100.0

[記号の意味, 集計の考え方]

\* 複数回答の設問は, 各選択肢の選択率(全回答者数のうち, 該当選択肢を選択した割合)を比較している。

\* 回答数の制限を超えて回答している場合(1つのみの選択で2つ印がついている等), すべての回答について有効とした。(そのため, 回答数が回答者数を超えている場合がある。)

\* 割合は, 小数点第2位で四捨五入とした。

# I 家庭生活

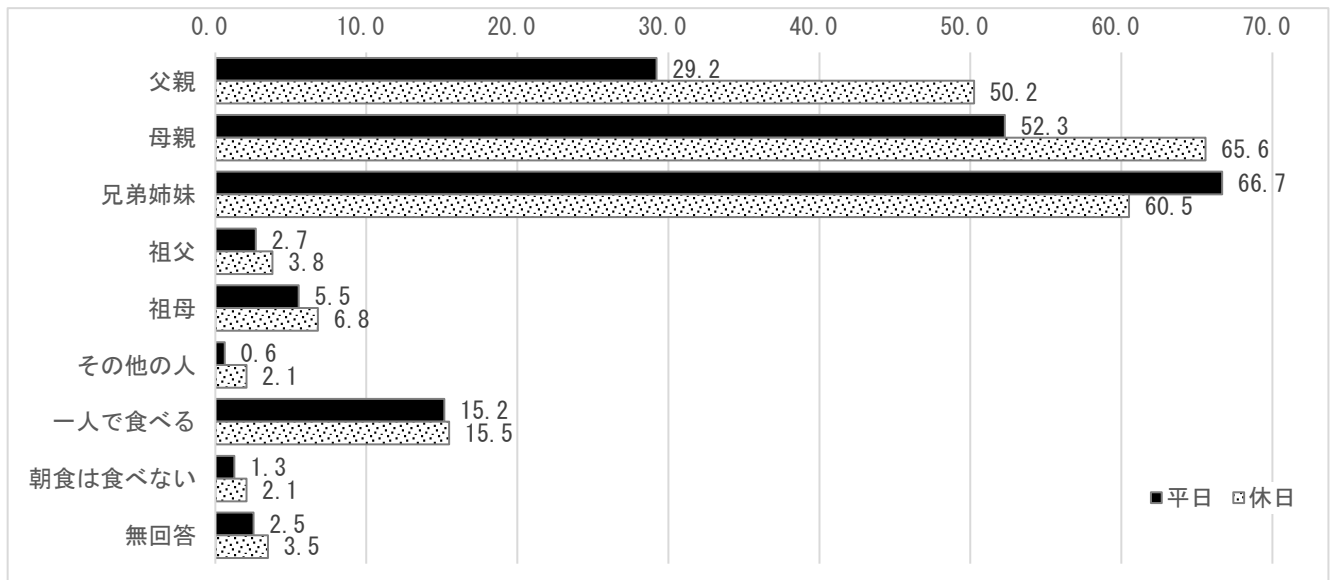
## I-1 朝・夕食について

[小・中学生 問1]

あなたは、家で朝・夕ごはんを誰（だれ）と一緒に（いっしょ）に食べることが多いですか。平日と休日（土曜・日曜・祝日）について、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

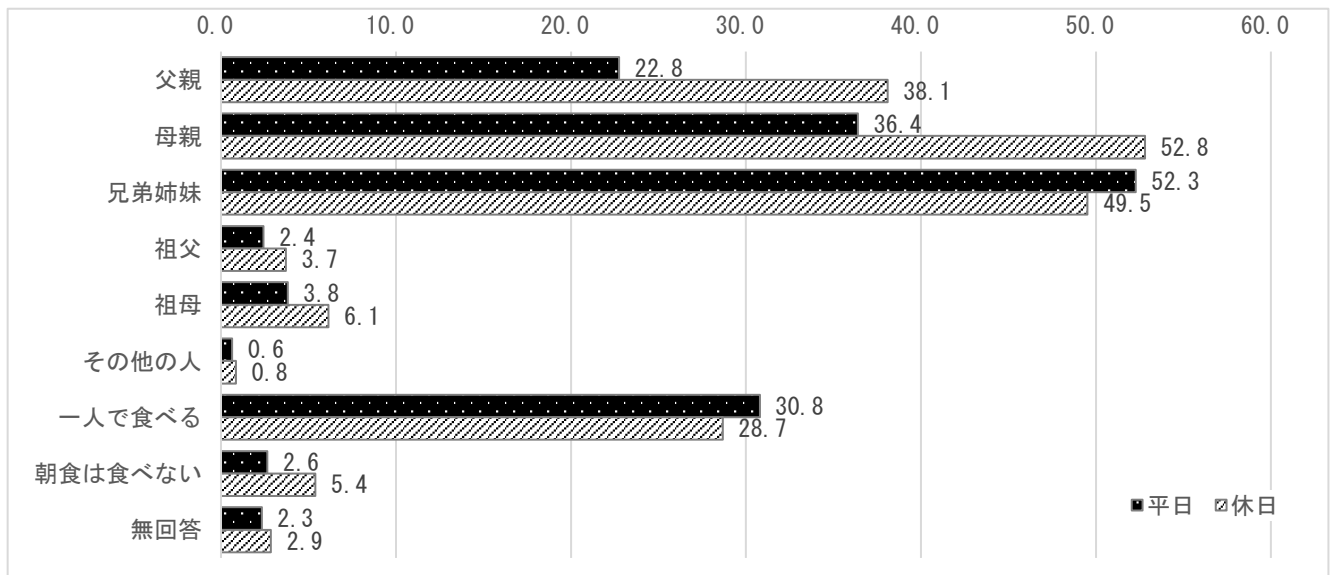
【朝食を誰と一緒に食べる人が多いか】[小学生 (N=633) (複数回答)]

(%)



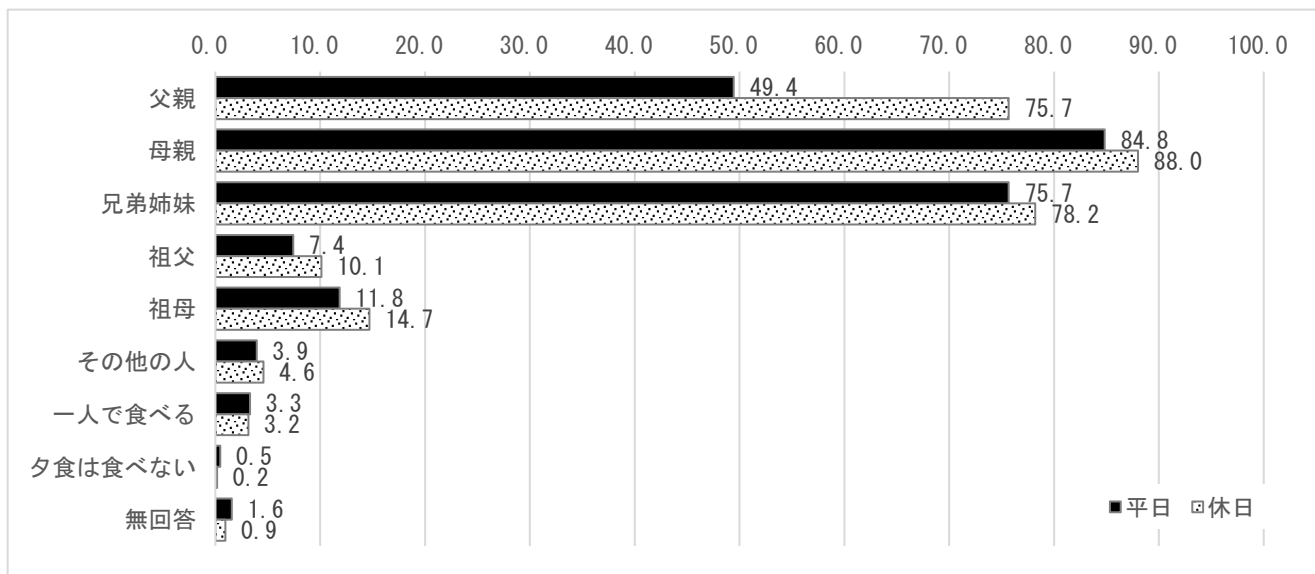
【朝食を誰と一緒に食べる人が多いか】[中学生 (N=945) (複数回答)]

(%)

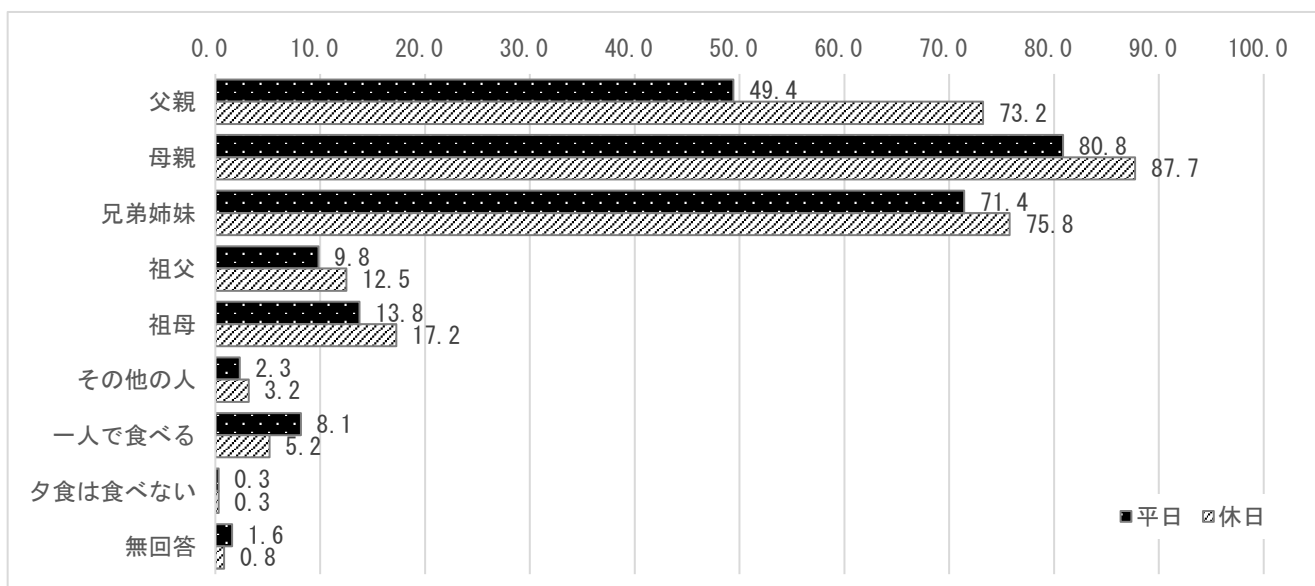


平日に朝食は食べないと回答した小・中学生ともに3%未満であり、小・中学生の朝食摂取率は高い。また、平日に比べ、休日は朝食を誰かと食べる割合が高く、特に父親・母親と朝食を食べる割合が上昇している。

【夕食を誰と一緒に食べることが多いか】[小学生 (N=633) (複数回答)] (%)



【夕食を誰と一緒に食べることが多いか】[中学生 (N=945) (複数回答)] (%)



夕食は食べないと回答した小・中学生ともに1%未満となっている。一緒に食べることが多いのは母親になっており、休日・平日ともに8割を超えている。

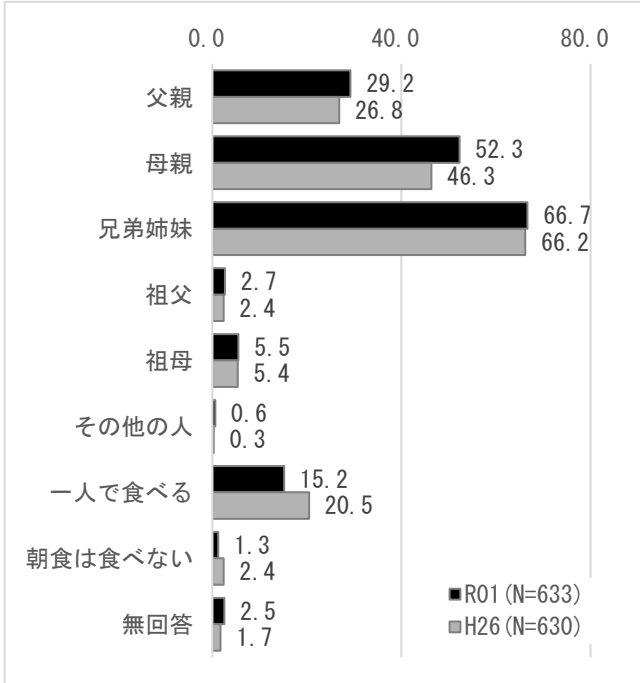
休日では誰かと一緒に食べる割合がすべて上昇しており、父親の割合が平日と比較して20%以上上昇している。

参考：平成 26 年度調査との比較

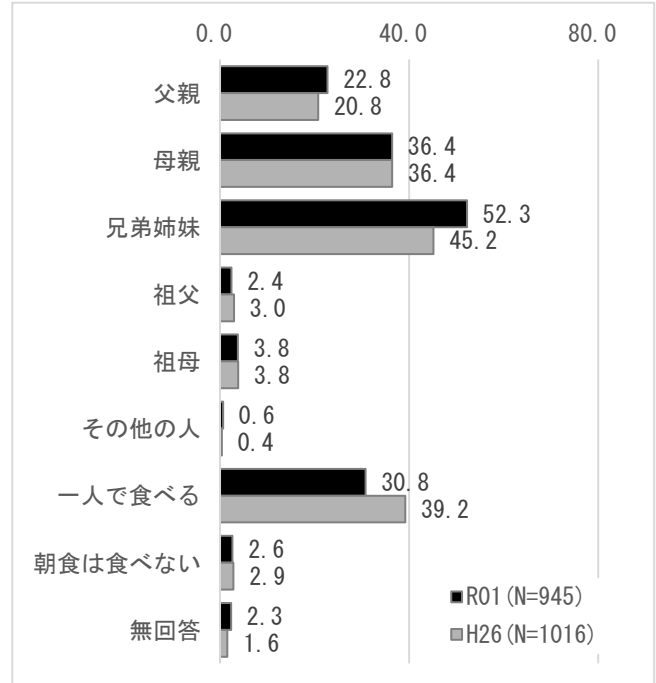
※平成 26 年度調査は、朝食摂取率のみ調査

(1) 平日 (朝食)

[小学生] (%)

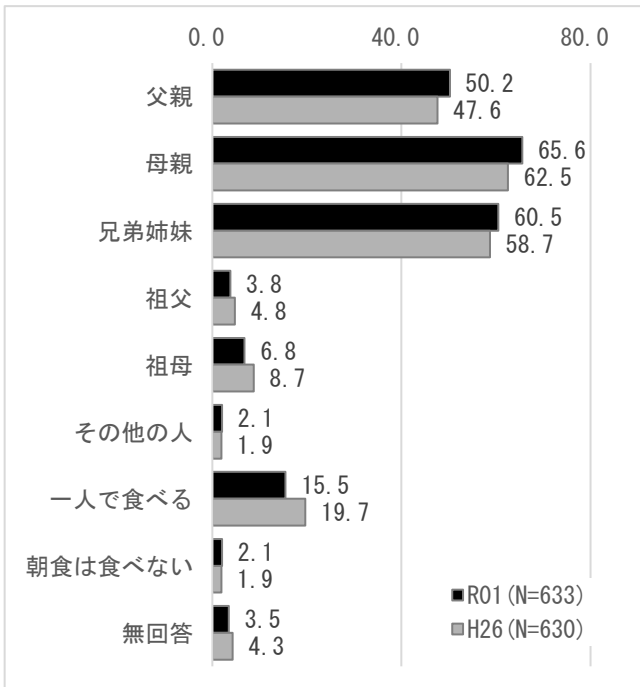


[中学生] (%)

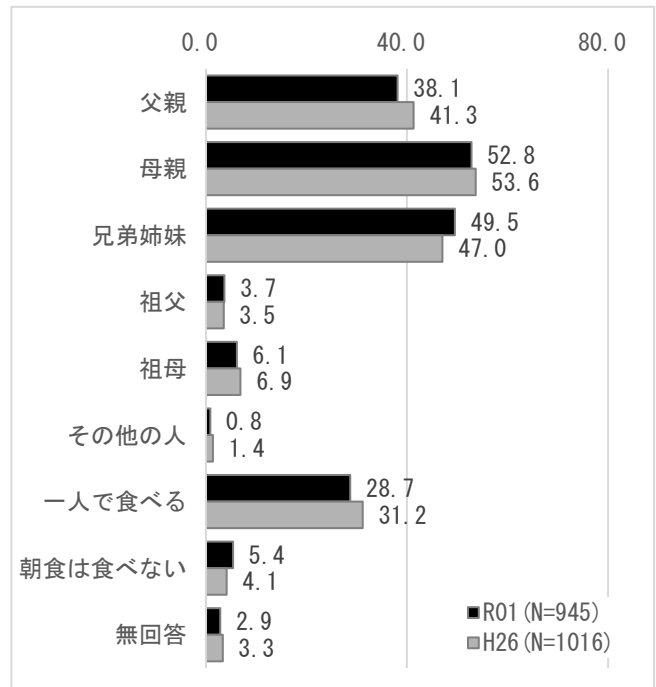


(2) 休日 (朝食)

[小学生] (%)



[中学生] (%)



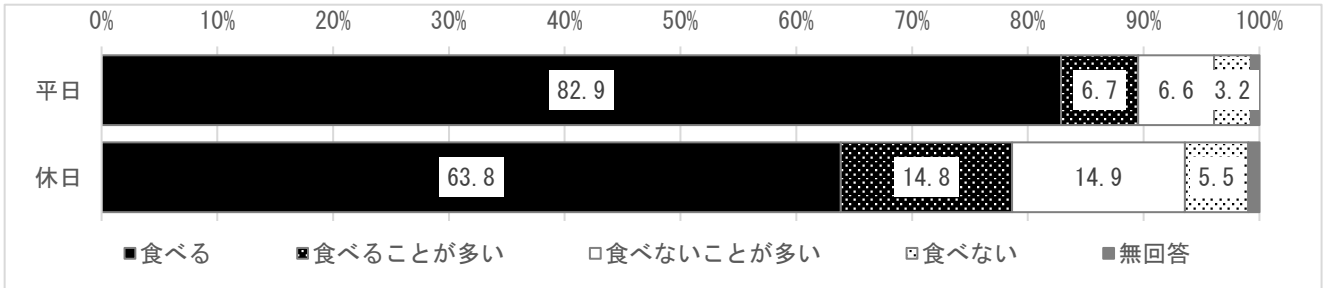
平成 26 年度に実施した調査と比較すると、一人で食べる割合が低下しており、平日の小・中学生および休日の小学生において、父親・母親と食べる割合が上昇している。

【高校生 問1】

あなたは、家で朝・夕食をとっていますか。平日と休日（土曜・日曜・祝日）について、あてはまるものにそれぞれ○印をつけてください。

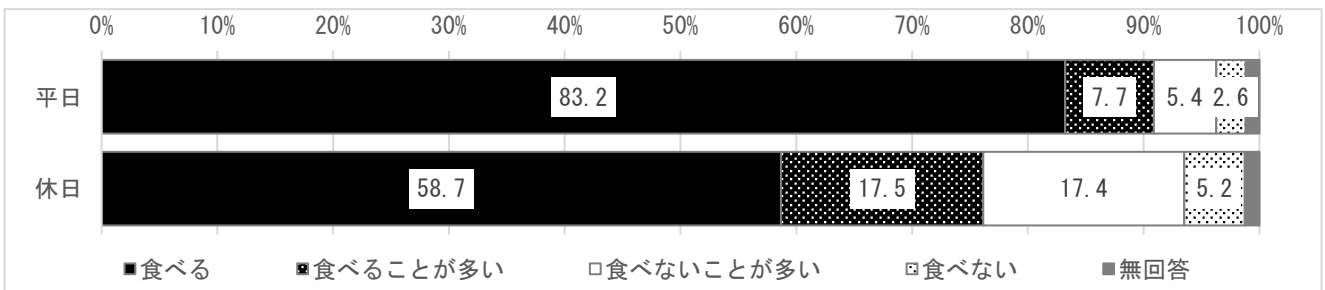
【朝食摂取率】 [高校生 (N=945)]

(%)



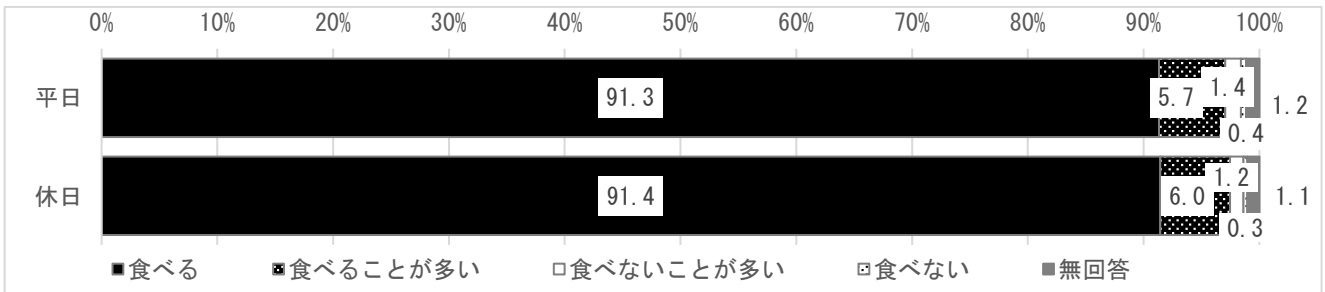
参考：平成26年度調査結果 [高校生 (N=1,019)]

(%)



【夕食摂取率】 [高校生 (N=945)]

(%)



※平成26年度調査は、朝食摂取率のみ調査

高校生の朝食摂取率（「食べる」「食べないことが多い」以下同じ）は、平日の割合が89.6%、同じく休日は78.6%となっており、平成26年度調査（平日90.9%、休日76.2%）と比較すると、平日、休日ともに顕著な差異は見られない。

夕食の摂取率は平日・休日ともに97%以上となっており、平日・休日の差は少ない。

## I-2 あいさつ・家族との会話について

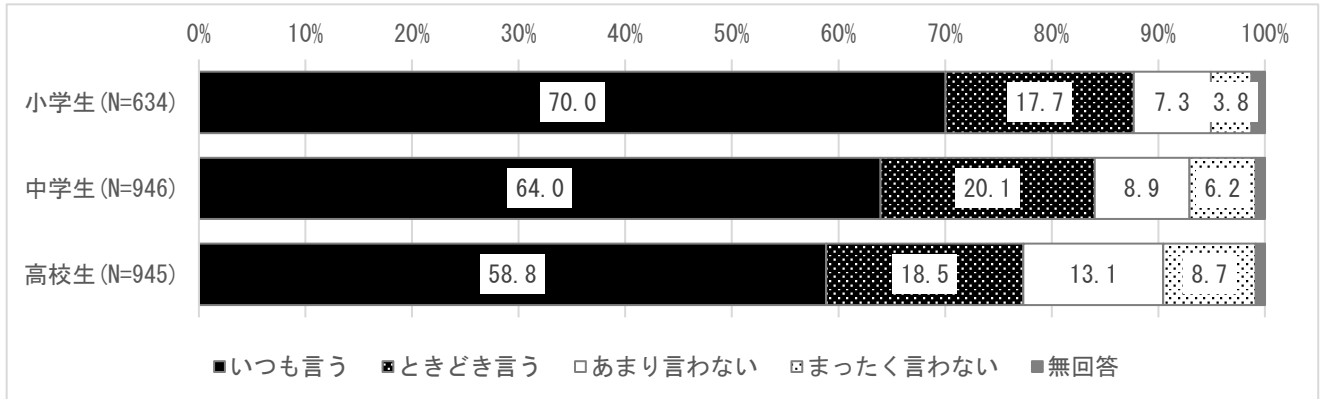
[小・中学生 問4]

あなたは、家族に、「おはよう」「おやすみなさい」などのあいさつや、「ありがとう」「ごめんなさい」と声に出して言いますか。それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

### 【あいさつの習慣】 [小・中学生]

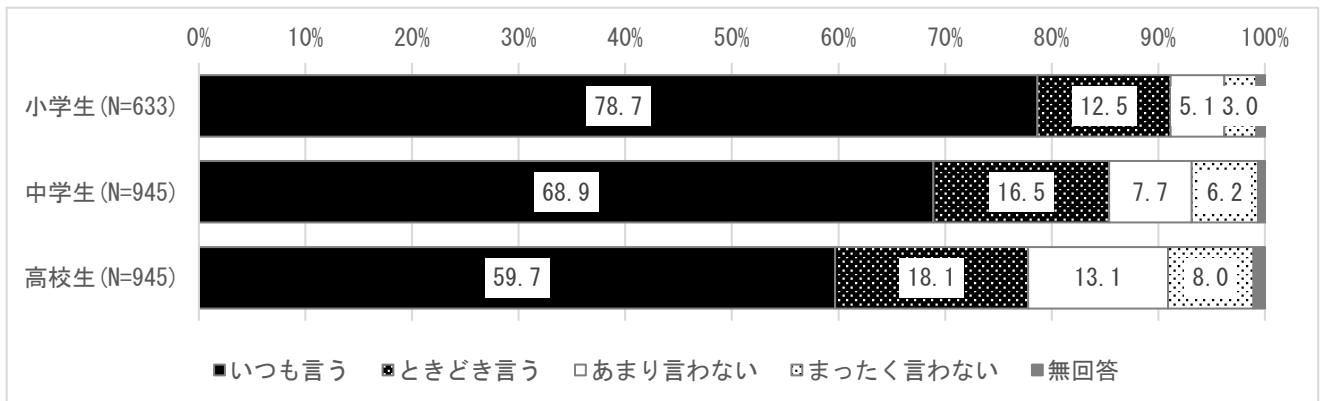
#### (1) おはよう

(%)



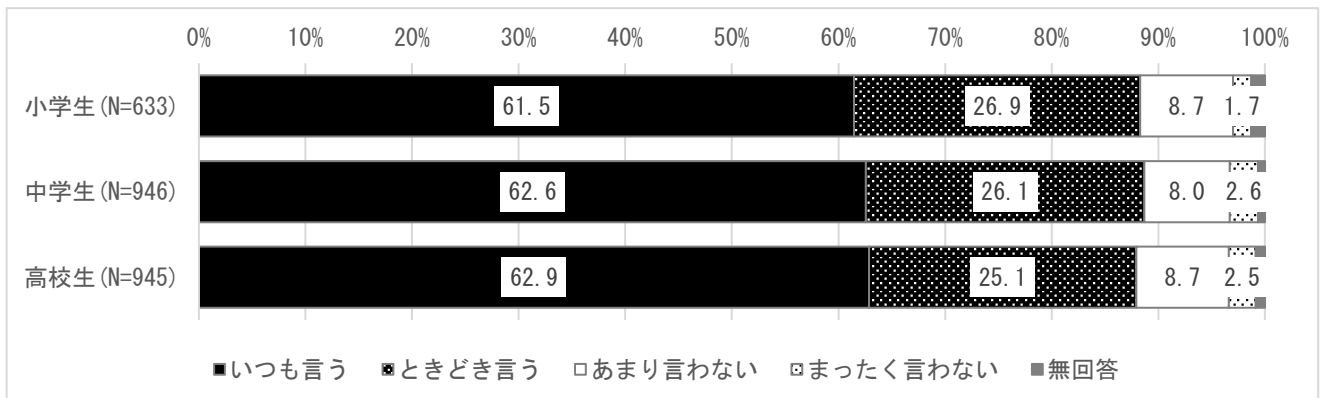
#### (2) おやすみなさい

(%)



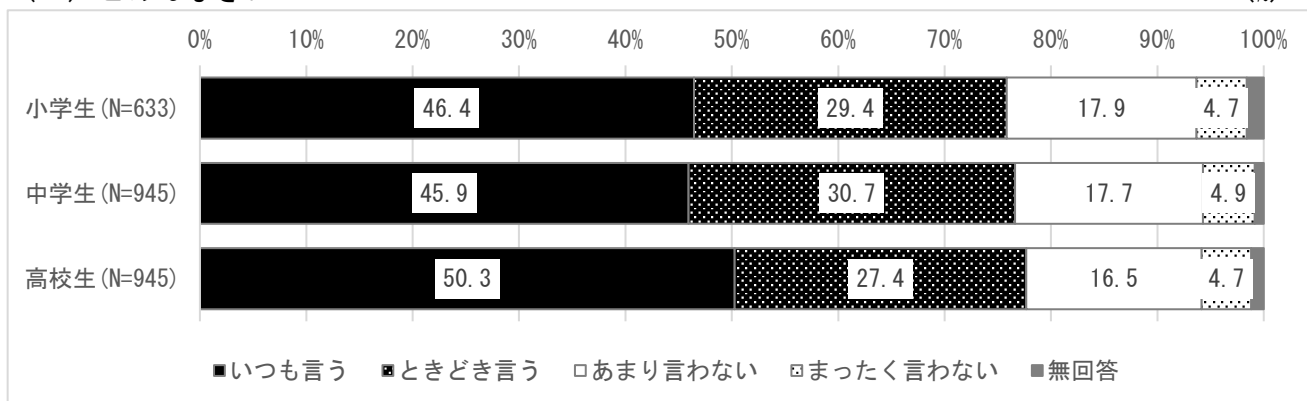
#### (3) ありがとう

(%)



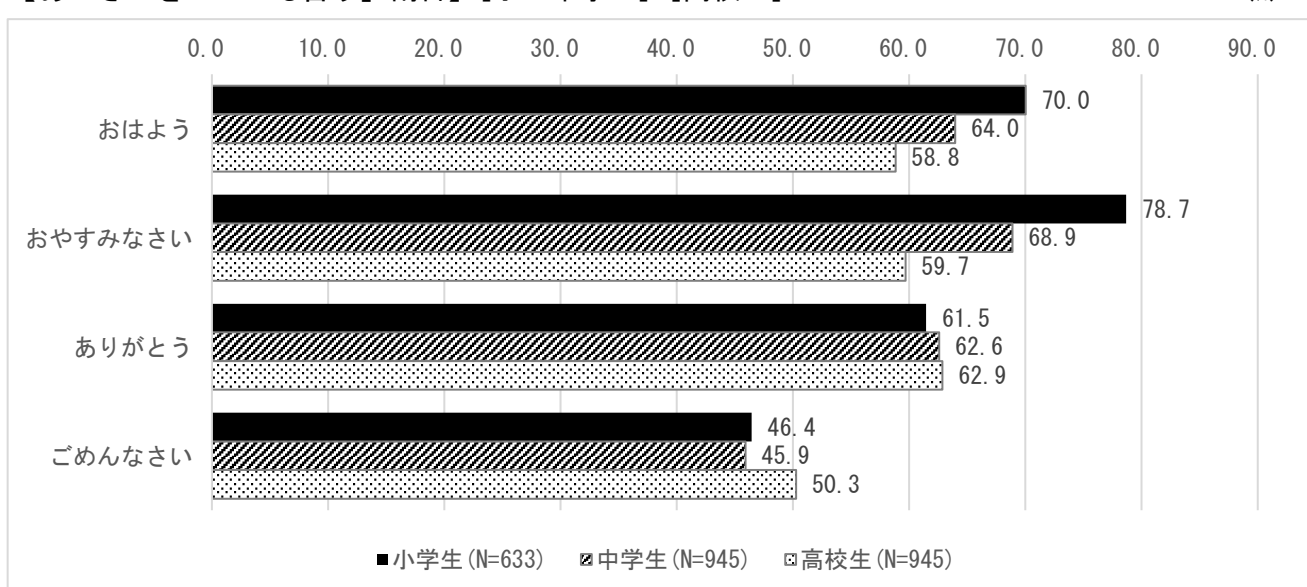
(4) ごめんなさい

(%)



【あいさつを「いつも言う」割合】[小・中学生] [高校生]

(%)



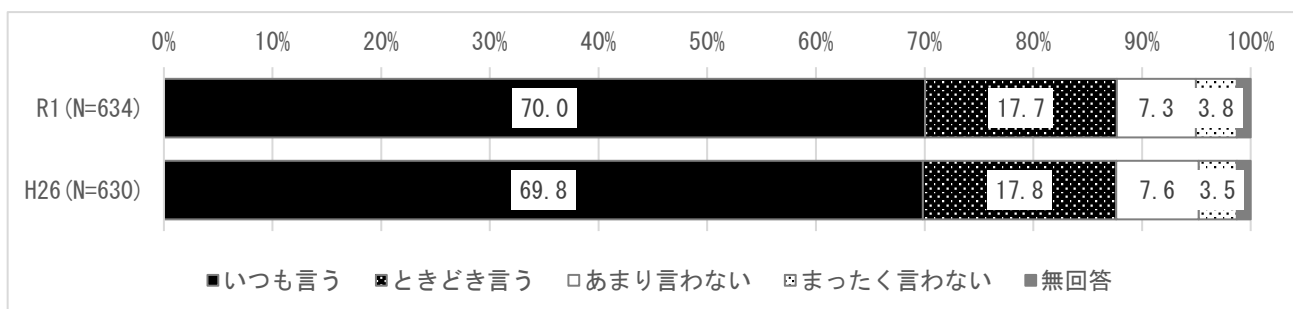
あいさつの習慣について、「おはよう」「おやすみなさい」を「いつも言う」割合は、小学生が最も高く、中学生・高校生になるに従い割合が低くなっている。

「ありがとう」「ごめんなさい」を「いつも言う」割合は高校生が最も高くなっている。

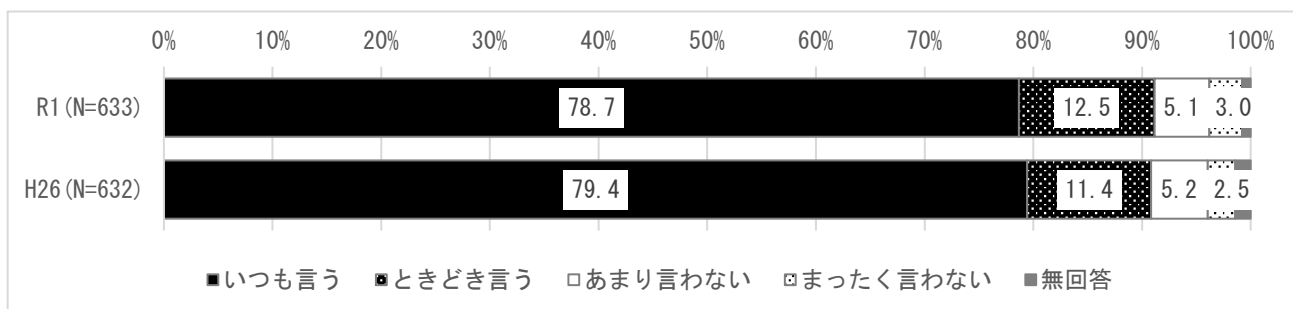
家族や身近な人と顔を合わせる機会が多い朝夕のあいさつについては、「あいさつ・声かけ運動」の成果もあり、習慣化している様子かうかがえる。

参考：平成 26 年度調査との比較 [小学生 R1 (N=633)・H26 (N=630)]

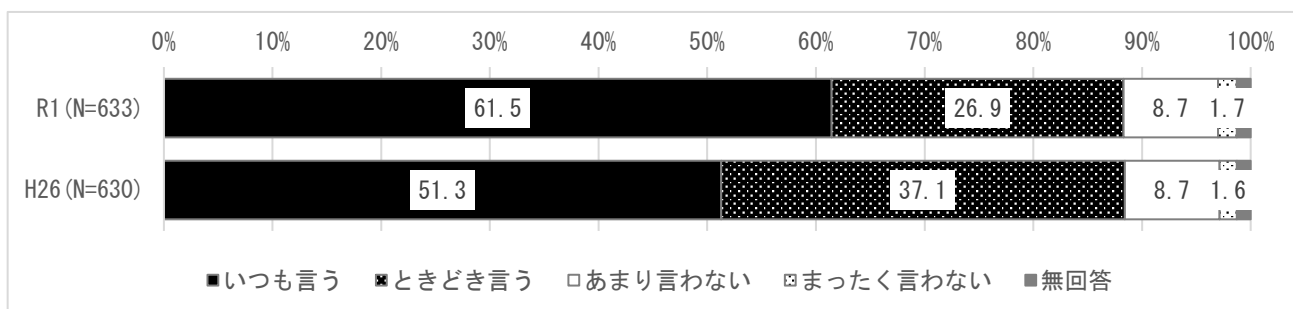
(1) おはよう (%)



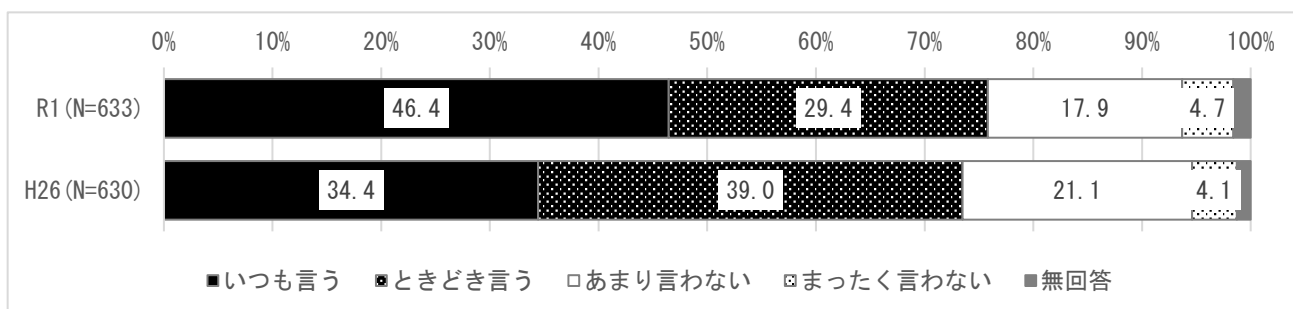
(2) おやすみ (%)



(3) ありがとう (%)



(4) ごめんなさい (%)



小学生のあいさつの習慣について平成 26 年度に実施した調査と比較すると、「ありがとう」「ごめんなさい」を「いつも言う」割合が上昇している。

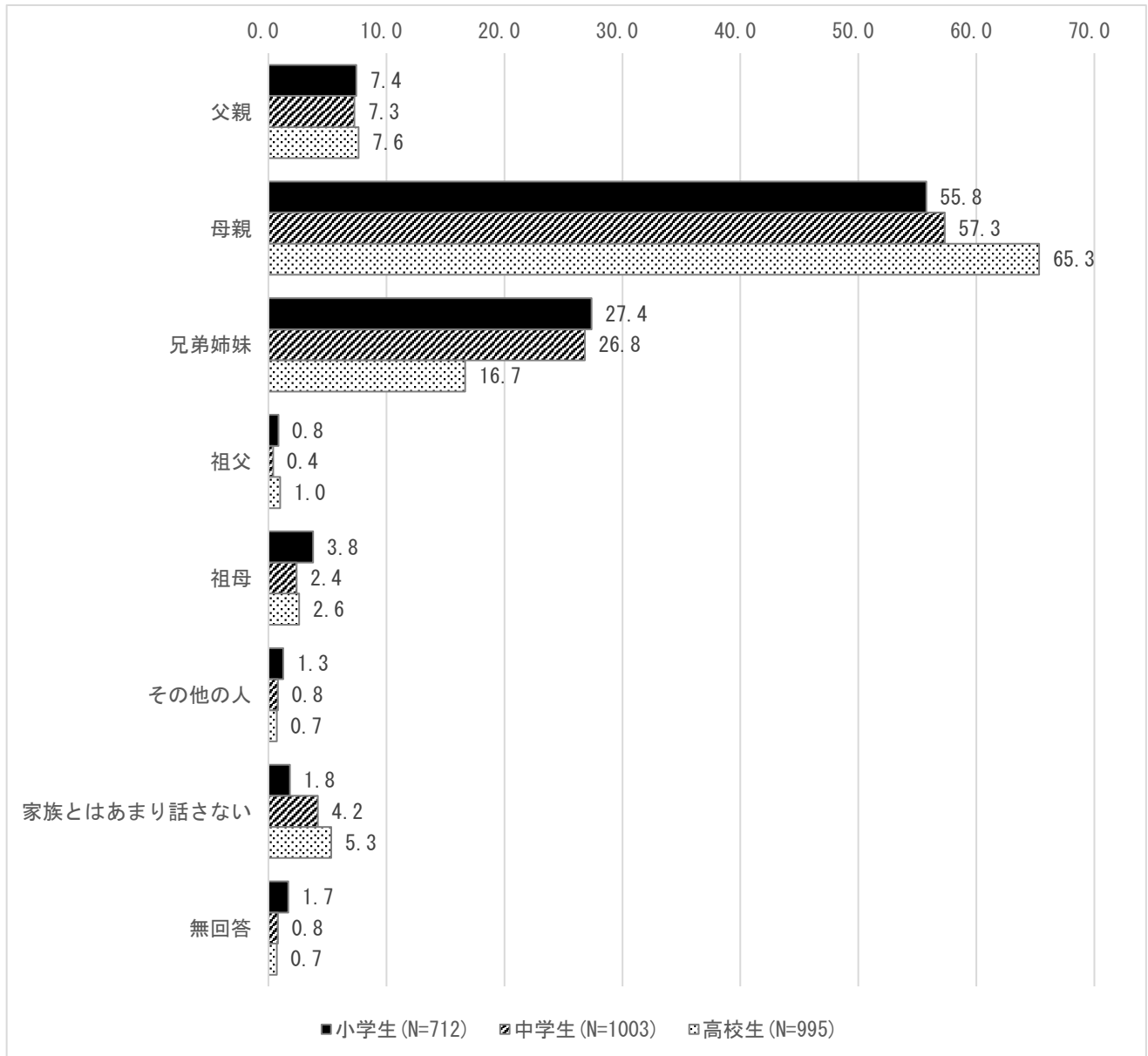


[小・中学生 問2][高校生 問2]

あなたは、家族の中で誰と話すことが一番多いですか。

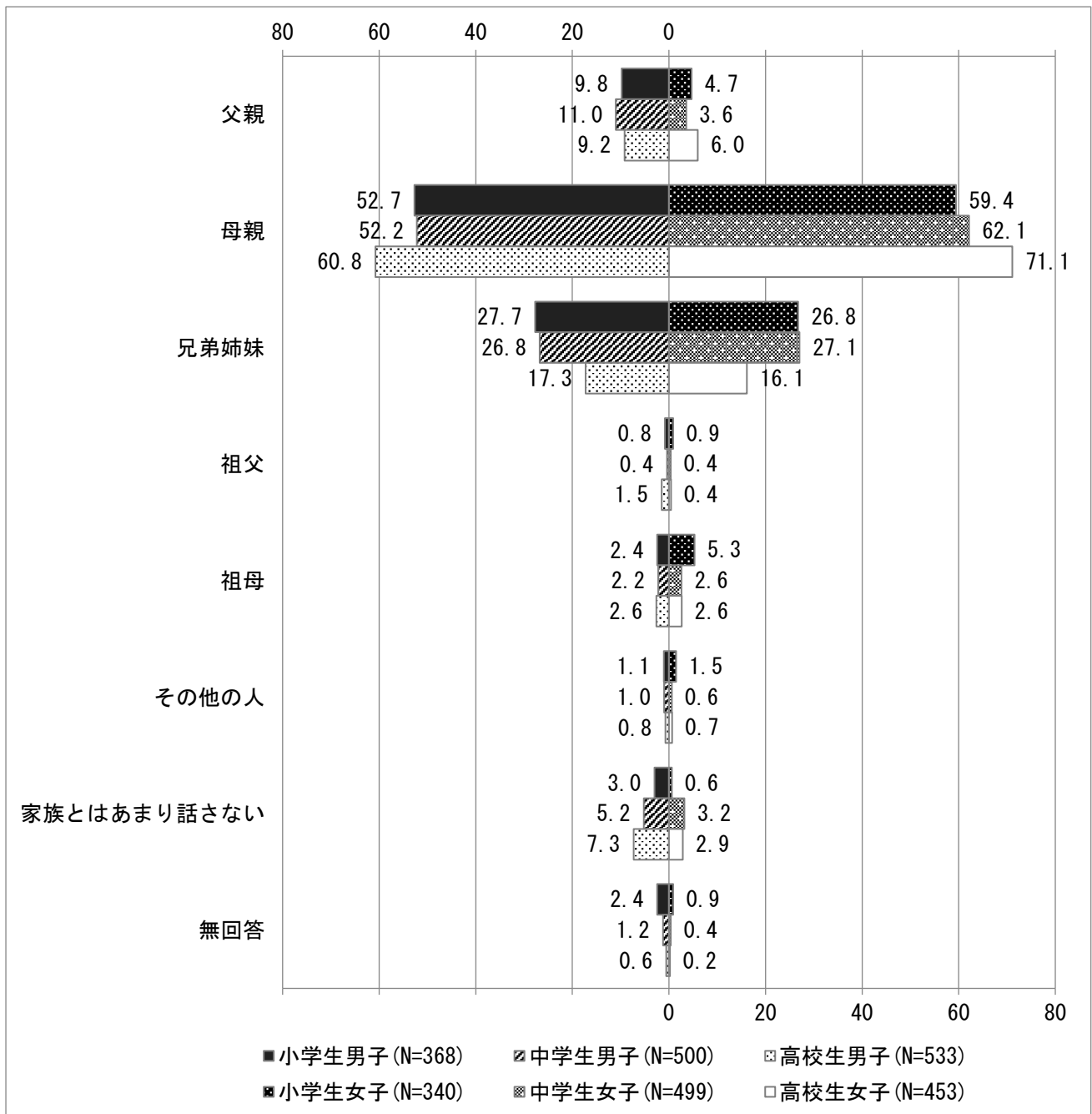
【家族との会話】 [小・中学生, 高校生]

(%)



小学生，中学生，高校生ともに，家族の中で最も話す機会が多いのは，「母親」となっており，高校生の割合が高くなっている。

「兄弟姉妹」との会話の割合は，学校段階の進行に従い低下し，「家族とはあまり話さない」割合は学校段階の進行に従い上昇している。



学校段階及び男女別に比較をすると、「父親」と会話する割合は男子のほうが高く、「母親」との割合は女子のほうが高くなっている。

「家族とはあまり話さない」割合については男子のほうが高い。

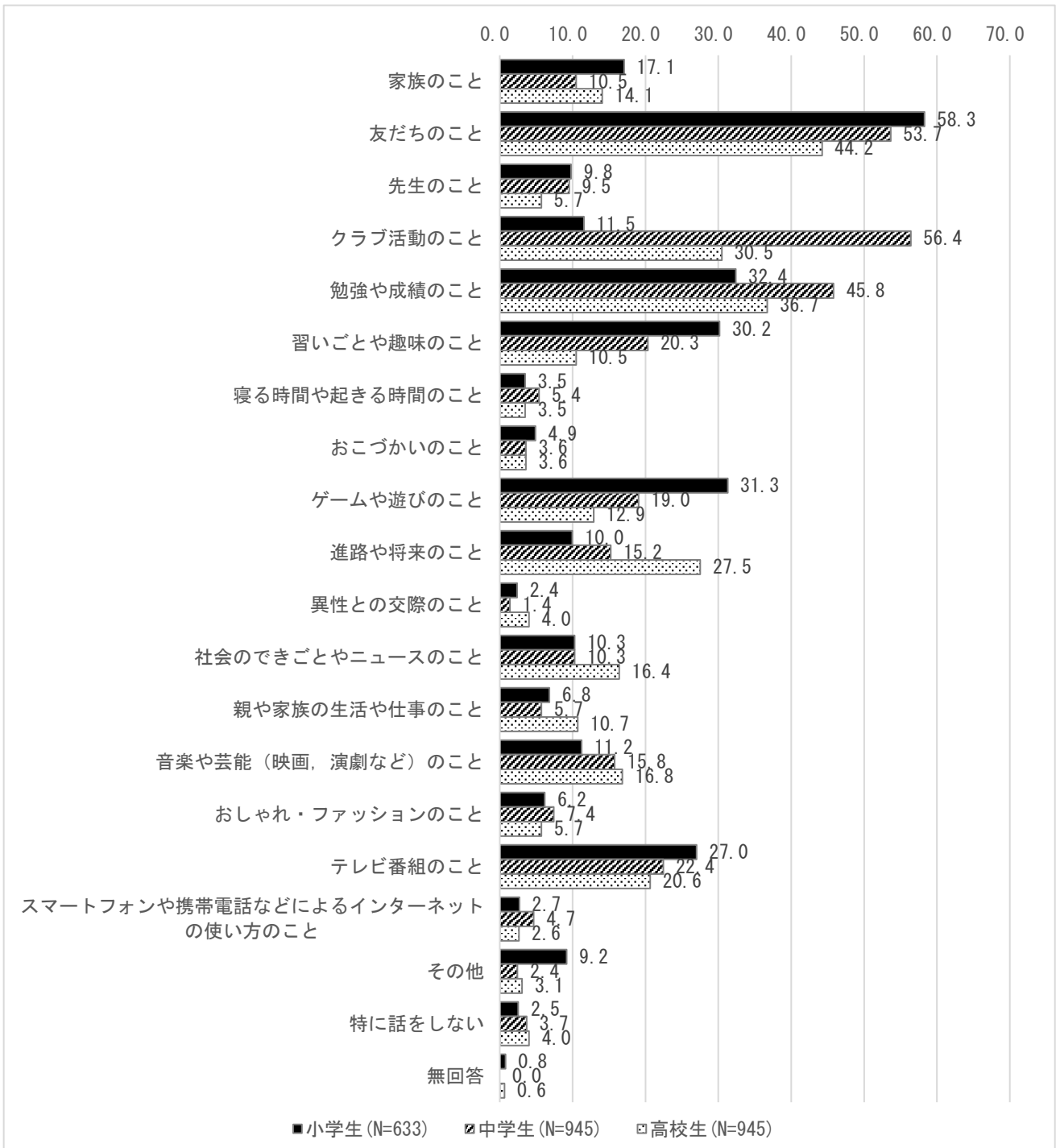
小学校、中学校、高校生の男女ともに、家族の中で最も話すことが多いのが母親である。母親と一緒に過ごす時間が他との差に表れているように思われる。

[小・中学生 問3][高校生 問3]

あなたは、家族とどんな話をすることが多いですか。（3つまで）

【家族との会話の内容】[小・中学生, 高校生]（3つまで）

(%)



小学生および高校生では「友だちのこと」の割合が最も高く、中学生では「クラブ活動のこと」の割合が最も高い。「ゲームや遊びのこと」「テレビ番組のこと」は学校段階が進むにつれて割合が低下しているが、「将来や進路のこと」の割合は上昇している。その他の記述では「学校のこと」、次いで「その日の出来事」の順で挙げられている。

参考：よく話す相手とその内容

(1) 小学生 (%)

	父親 (N=53)	母親 (N=397)	兄弟姉妹 (N=195)
1位	友だちのこと 49.1	友だちのこと 60.7	友だちのこと 58.5
2位	ゲームや遊びのこと 47.2	勉強や成績のこと 35.3	ゲームや遊びのこと 36.4
3位	習いごとや趣味のこと 45.3	習いごとや趣味のこと 30.2	習いごとや趣味のこと テレビ番組のこと 31.3

(2) 中学生 (%)

	父親 (N=73)	母親 (N=575)	兄弟姉妹 (N=269)
1位	クラブ活動のこと 68.5	クラブ活動のこと 58.1	クラブ活動のこと 55.8
2位	勉強や成績のこと 52.1	友だちのこと 57.4	友だちのこと 53.5
3位	友だちのこと 46.6	勉強や成績のこと 46.8	勉強や成績のこと 47.6

(3) 高校生 (%)

	父親 (N=76)	母親 (N=650)	兄弟姉妹 (N=166)
1位	友だちのこと 43.4	友だちのこと 49.2	友だちのこと 40.4
2位	勉強や成績のこと 39.5	勉強や成績のこと 39.5	勉強や成績のこと 33.1
3位	クラブ活動のこと 進路や将来のこと 34.2	クラブ活動のこと 32.8	ゲームや遊びのこと 28.9

全ての学校段階で話す内容に「友だちのこと」が上位に入っている。

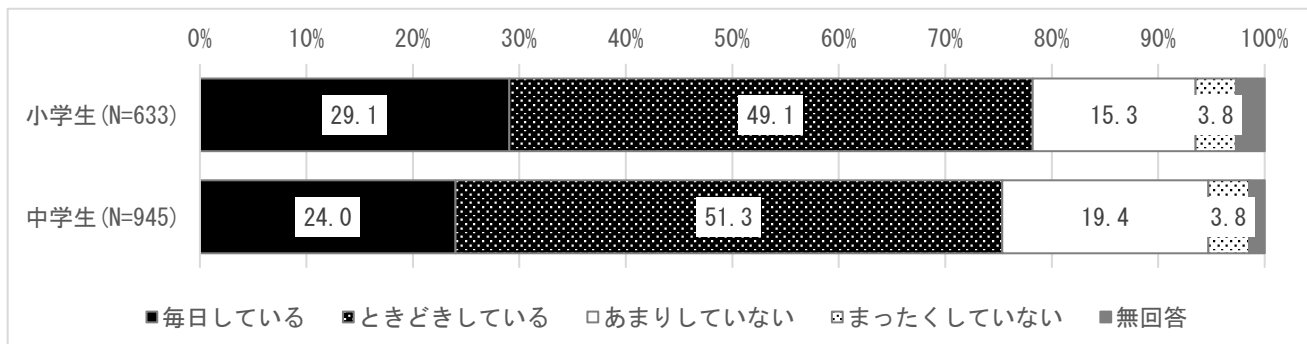
### I-3 お手伝い・お小遣い等について

[小・中学生 問5]

あなたは、家の手伝いをしていますか。1つだけ選んで○をつけてください。

#### 【家の手伝いをしているか】 [小・中学生]

(%)

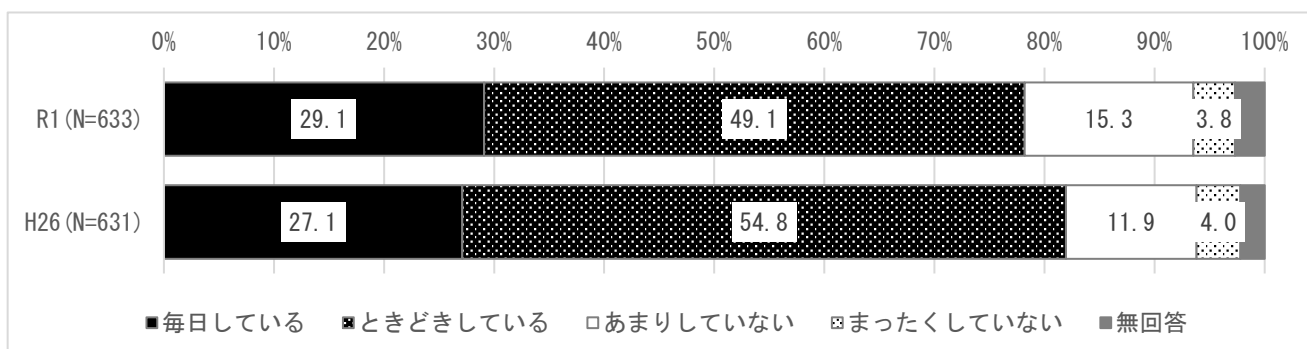


小学生が「毎日」及び「ときどき」家の手伝いをしている割合は78.2%，中学生では75.3%となっている。中学生になると手伝いをする割合が低下しているが、学校や部活、塾などにより手伝いができる時間が少なくなっていることが考えられる。

#### 参考：平成26年度調査との比較

[小学生]

(%)



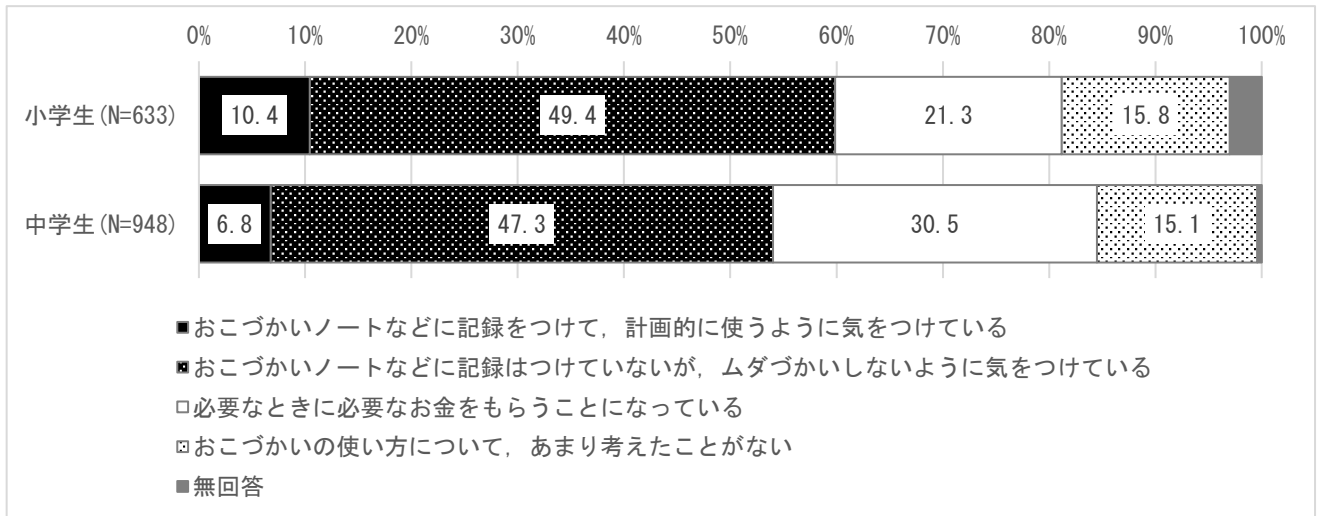
小学生が家の手伝いをする割合について、平成26年度に実施した調査と比較すると、「毎日している」割合は上昇しているが、「ときどきしている」割合と合わせると、習慣的に手伝いをしている割合は低下している。

[小・中学生 問6]

あなたは、お小遣いをどのように使っていますか。1つだけ選んで○印をつけてください。

【お小遣いをどのように使っているか】[小・中学生]

(%)



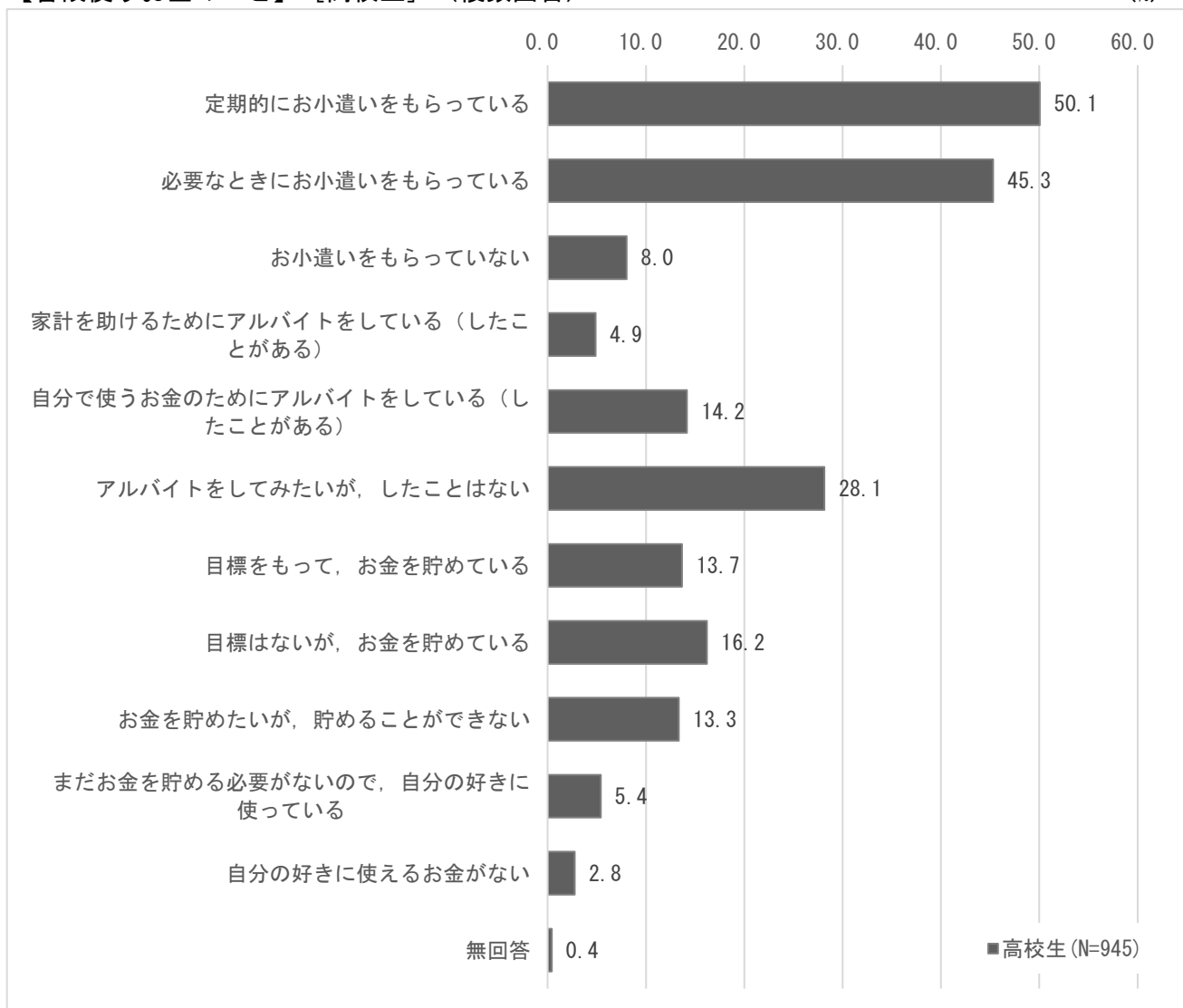
小学生、中学生ともに「おこづかいノートはつけていないが、ムダづかいしないように気をつけている」割合が最も高い。次いで「必要なときに必要なお金をもらうことになっている」が高くなっている。

「記録をつけて、計画的に使うように気をつけている」割合は最も低く小学生では10.4%、中学生では6.8%となっている。

【高校生 問5】

あなたが普段使うお金のことについて、次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。（複数回答）

【普段使うお金のこと】 【高校生】（複数回答） (%)



高校生では、「定期的にお小遣いをもらっている」割合が最も高く、「必要なときにお小遣いをもらっている」割合と合わせると、95.4%となる。

アルバイトをしている割合は19.1%となっており、アルバイト経験はないが、してみたいと考えている高校生は28.1%となっている。

参考：お小遣いの有無とアルバイト経験 [高校生]

(%)

		アルバイトの経験		
		家計を助けるためにアルバイトをしている（したことがある）	自分で使うお金のためにアルバイトをしている（したことがある）	アルバイトをしてみたいが、したことはない
お小遣いの有無	定期的にお小遣いをもらっている (N=473)	1.9	7.0	30.7
	必要なときにお小遣いをもらっている (N=428)	3.3	10.7	31.5
	お小遣いをもらっていない (N=76)	14.5	31.6	21.1
	自分の好きに使えるお金がない (N=26)	11.5	15.4	57.7

参考：お小遣いの有無とアルバイト経験と金銭に対する意識 [高校生]

(%)

		金銭に対する意識			
		目標をもって、お金を貯めている	目標はないが、お金を貯めている	お金を貯めたいが、貯めることができない	まだお金を貯める必要がないので、自分の好きに使っている
お小遣いの有無	定期的にお小遣いをもらっている (N=473)	13.7	15.0	16.3	5.1
	必要なときにお小遣いをもらっている (N=428)	10.7	15.7	12.4	6.1
	お小遣いをもらっていない (N=76)	18.4	32.9	13.2	5.3
	家計を助けるためにアルバイトをしている（したことがある） (N=46)	50.0	2.2	17.4	2.2
	自分で使うお金のためにアルバイトをしている（したことがある） (N=134)	28.4	12.7	15.7	5.2
	アルバイトをしてみたいが、したことはない (N=266)	13.2	21.1	22.9	5.6
	自分の好きに使えるお金がない (N=26)	3.8	15.4	42.3	7.7